

障害報告のポイント (事故報告マトリックス)

2018-0327版

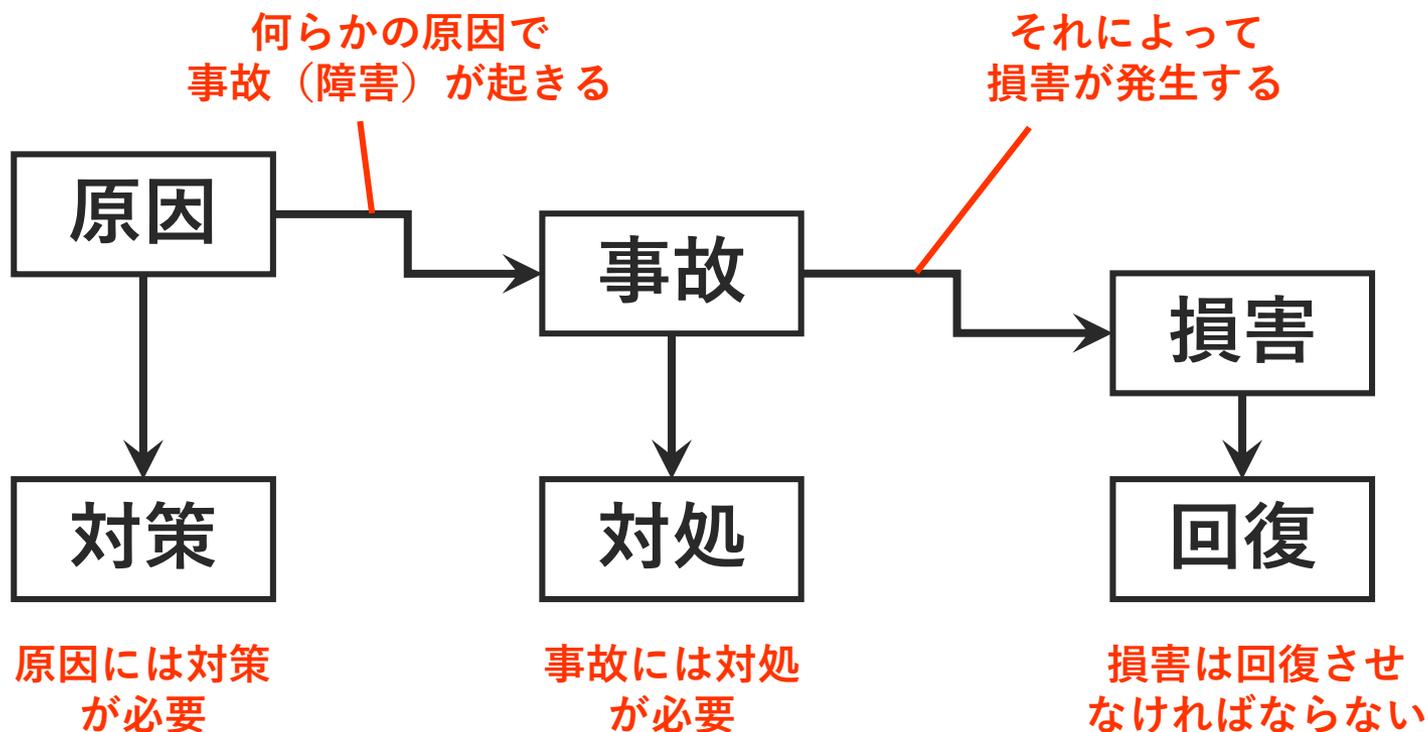
アイデアクラフト 開米瑞浩

<http://ideacraft.jp>

障害報告の代表的構成パターン

事故または障害と呼ばれる事象の代表的な構成パターンの1つ。
事故／障害報告をする場合、報告の各部がどの部分を語っているのか、どう関連づいているのかを明示する必要がある。

事故の6項目パターン

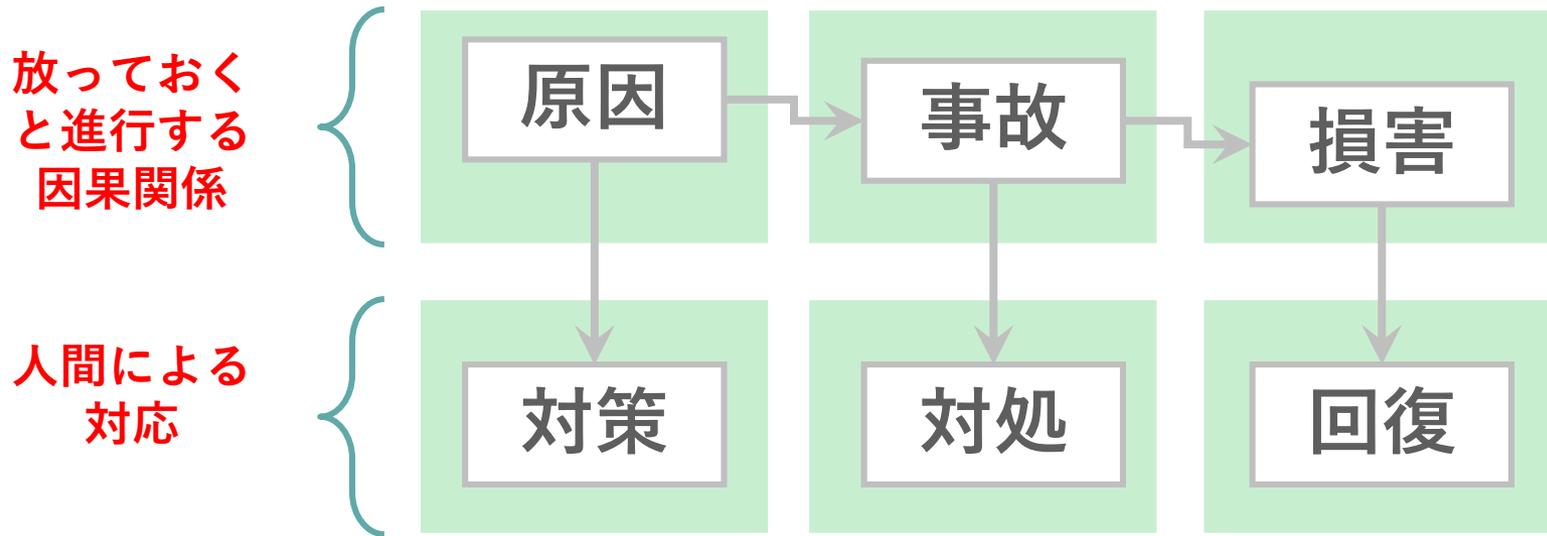


因果関係と人間の対応のマトリックス

上段は「放っておくと次々と進行する」因果関係。

下段は「それらへの人間の対応」。

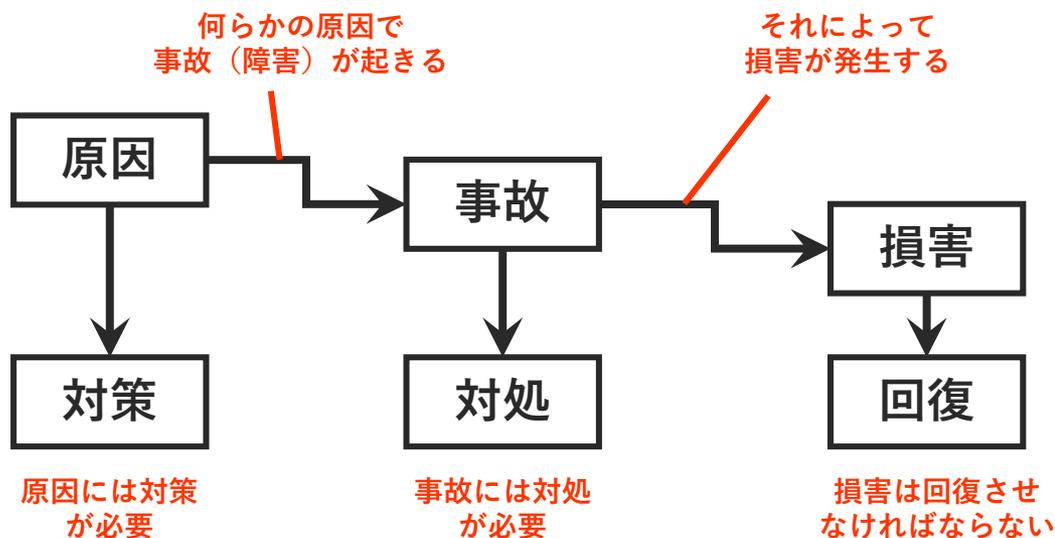
上下段を合わせて一種のマトリックスのように考えることができる



用語はゆれても構造は同じ

実際には下記の用語で呼ばれていない場合もよくありますが、事故／障害が起きたときにはこの6項目を切り分けておくと誤解や見落としが起きにくく、便利です

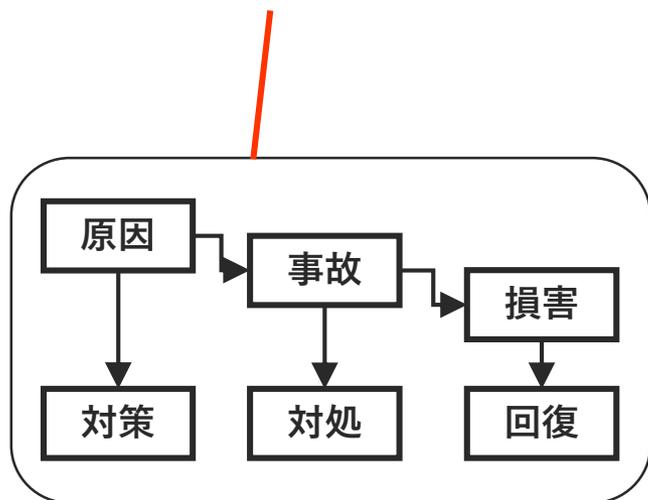
事故の6項目パターン



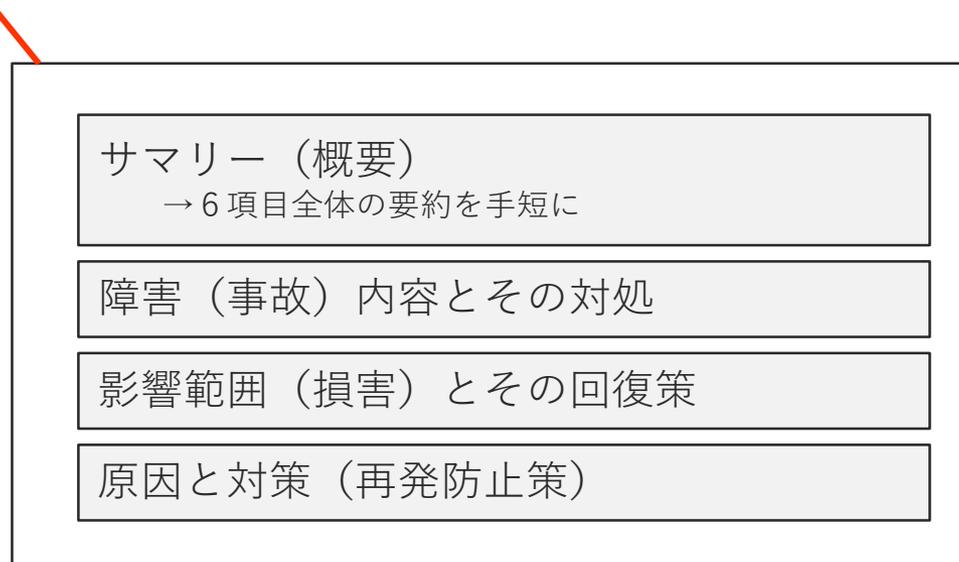
最終的にどうやって書くの？

全体をサマリーとして要約した上で「事故→対処」「損害→回復」「原因→対策」の関係を書くのが一例。

まずこの形を整理してから、それを元に報告書としてまとめる



要するにこれを作れば
あとはできます。



必ずこれでなければならないわけ
ではないので、必要に応じて
アレンジしてください。